



# オ ラ メ ヒ コ Hola! México

話題のメキシコがわかるレポート

## 【第5回】

### 潜在力を持つ消費市場、さらなる成長へ

世界11位の人口を有するメキシコは、今後も若年層を中心とする人口の増加が見込まれ、消費市場としての可能性を秘めています。個人消費の拡大余地は大きいと見られ、経済成長に伴い、国内消費市場の持続的な成長が期待されています。今回は、メキシコの個人消費についての情報をお届けします。

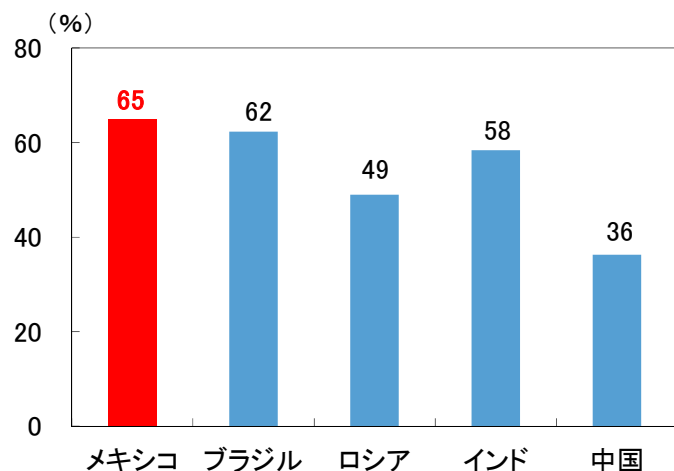


#### 豊富な若年層が消費を下支え

メキシコは、国内総生産(GDP)に占める個人消費の割合が65%とBRICs諸国に比べても高く、内需主導の経済構造であることが特徴です。また、近年のメキシコの底堅い経済成長は個人消費を中心とする旺盛な内需が牽引しています。

持続的な消費拡大をもたらす上で重要な人口は、約1億2,000万人(2013年 国連推計)と日本に次いで世界11位、また、30歳未満の人口が総人口の約6割を占めるといふ若年層が厚い、理想的な人口構成でもあります。

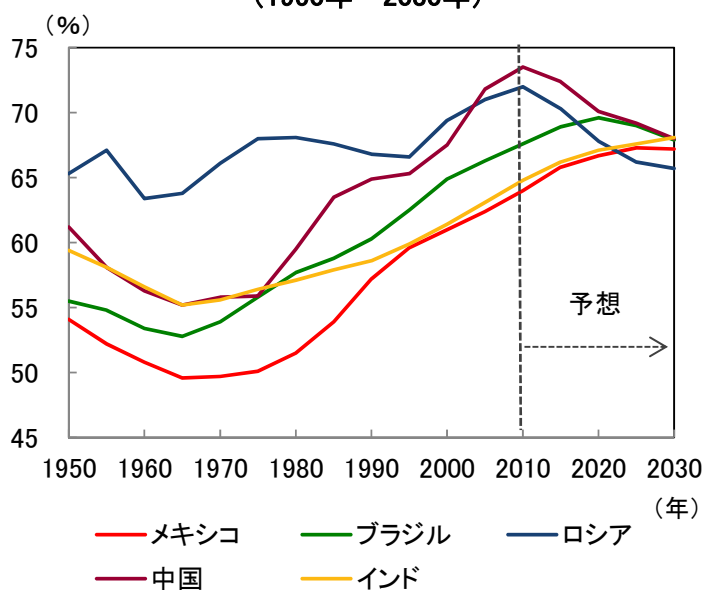
GDPに占める個人消費の割合 (2012年)



出所：データストリームのデータをもとにHSBC投信が作成

労働や消費の中心となる生産年齢人口(15歳-64歳)の総人口に対する割合をみると、中国やロシアは2010年頃にピークを迎えましたが、メキシコは、現在、生産年齢人口が増加の真ただ中にあり、2025年~2030年頃まで続く見通しです。

新興国の生産年齢人口比率の推移  
(1950年~2030年)



出所：国連 World Population Prospects: The 2012 RevisionのデータをもとにHSBC投信が作成



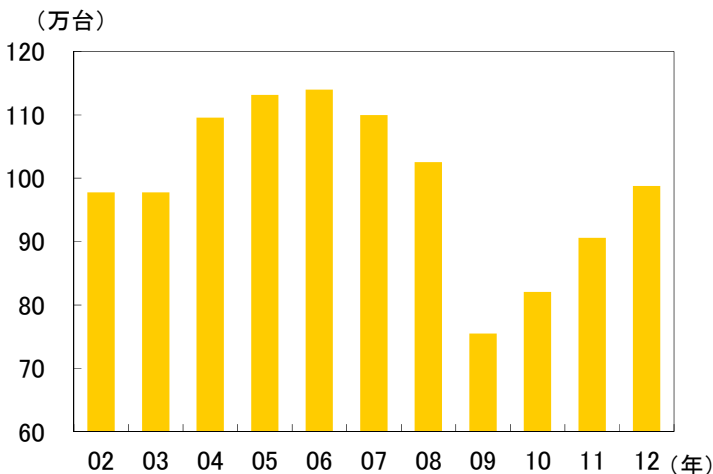
## 拡大が期待される国内消費市場

メキシコでは、経済成長に伴い、国民の所得水準が向上しています。世帯別可処分所得\*は2004年で4,848米ドルでしたが、2012年には約1.4倍の7,019米ドルまで増加しています。しかし、その一方で、依然として大きな所得格差が存在しています。ビル・ゲイツ氏(マイクロソフト社長)を凌ぐ、世界の大富豪である実業家のカルロス・スリム氏を輩出する傍ら、相対的貧困率(所得が全国民の所得の中央値の半分に満たない国民の割合)は約20%(2010年)とOECD加盟国の中でも、イスラエルに次いで高い数値です。ペニャニエト政権は、このような格差問題を重要な政策課題としており、今後、「貧困撲滅と所得格差の是正」に向けての改革が期待されます。

近年、所得水準の向上を背景に耐久消費財の需要が高まっています。例えば、自動車の年間販売台数は世界金融危機の影響を受け2009年は大きく落ち込みましたが、2010年以降、回復し順調に伸びています。

\*出所はEuromonitor International

自動車販売台数の推移(2002年~2012年)



出所: データストリームのデータをもとにHSBC投信が作成

このような背景には活発な個人向けローンの利用があげられます。メキシコは底堅い成長が続く一方で、インフレ率は安定的に推移しており、ここ数年、政策金利は歴史的な低水準を維持してきました。

貸出金利も低いことから消費者ローンやクレジットカードを利用した耐久消費財の購入増加につながるとともにローン残高も増加しています。

耐久消費財の世帯普及率を見ると、メキシコは1人当たりGDP\*\*が10,000米ドルを超えていますが、所得格差が大きいと、普及率は、1人当たりGDPが約6,000米ドルのタイと同程度の水準にとどまっています。今後、所得格差の是正、中間層の増加に伴う国内消費市場の拡大が見込まれ、メキシコにおける個人消費の拡大余地は大きいと見られます。

\*\*数値は2012年、出所はIMF World Economic Outlook Database (April 2013)

耐久消費財 世帯普及率の比較(2012年)

|      | エアコン | 冷蔵庫 | 洗濯機 | パソコン |
|------|------|-----|-----|------|
| メキシコ | 17%  | 83% | 68% | 34%  |
| タイ   | 15%  | 90% | 56% | 26%  |
| ブラジル | 13%  | 96% | 49% | 49%  |
| ロシア  | 9%   | 97% | 97% | 59%  |
| 中国   | 53%  | 77% | 73% | 39%  |
| インド  | 10%  | 21% | 8%  | 10%  |

出所: Euromonitor InternationalのデータをもとにHSBC投信が作成

近年、首都メキシコシティでは、大規模なショッピングモールやデパートなどの建設が進んでいます。新しく建設されたショッピングモールの中には外資系ファストファッション(流行を採り入れながらも、低価格に抑えた衣料品)が相次いで進出しており、スペインのZARA(ザラ)や米国のフォーエバー21、スウェーデンのH&Mなど日本でも馴染みのあるブランドが続々と出店しています。

米国、世界の製造・輸出拠点として注目される「メキシコ」。若い人口を擁する潜在的な成長力、健全な財政、そして新政権による構造改革により、さらなる飛躍が期待されます。(当レポートは今回で終了となります)



## 元メキシコ駐在員が語るメキシコの「へえ～」

メキシコシティ旧市街のソカロ(憲法広場)の正面に幅200メートルに亘り堂々と立つ国立宮殿は、その昔アステカ時代の王様の居城を征服者スペイン人が破壊し、同じ場所に植民地支配の本拠として建てたものです。今でも毎年9月15日の独立記念日の夜には独立宣言を再現し、大統領がそのバルコニーから「メキシコ万歳！独立万歳！」の叫びを上げ、広場に集まった何万人もの民衆がこれに応じて唱和するという、昔も今も象徴的な建物です。衛兵が入口を警備しているのですが、身分証明書を提示すると案外あっさりとしかも無料で、中に入れてくれます。

この宮殿内部の見どころは、正面階段の両側から回廊部分の半分ぐらいまでの壁に描かれ、見る人に圧倒的な迫力で迫る大壁画「メキシコの歴史」です。何面もの壁一杯に描かれている壁画を辿るとアステカ時代から独立戦争に至るまでのメキシコの歴史が判るという雄大な叙事詩、あるいは日本流に云うと絵巻物のようです。この作者のディエゴ・リベラは当初、この広大な宮殿の回廊の壁をすべて壁画で埋め尽くす積もりだったそうで、志半ばに終わったとは云え、それぞれの壁画の大きさとその数には驚きます。

また、彼の晩年の傑作と云われている「アラメダ公園の日曜の午後の夢」は、メキシコ近代・現代の著名人が公園を一斉に散歩している群像画で、今はディエゴ・リベラ壁画館に収められているのですが、いつまで眺めていても飽きないほど描き込まれた大作です。ディエゴ・リベラは巨漢ながら茶目っ気に富んだ人物で、壁画に色々な書き込みをしては物議を醸すこともあったのですが、ちなみに、この画にはディエゴ・リベラ自身が少年の姿をして、彼の妻であり波乱の生涯を送ったメキシコきっての女流画家であるフリーダ・カーロの前に描かれています。

ディエゴ・リベラにシケイロス、オロスコを加えた3人がメキシコ壁画の3巨匠と云われているのですが、メキシコ革命(1910年～1917年)を讃える目的で1920年代以降に国の文化政策と連動した「メキシコ壁画運動」の立役者です。文字が読めない人でも理解でき、誰でも見ることが出来る「壁画」による物語で、メキシコのあるいはメキシコ人としてのアイデンティティを表現し、後世に遺すというわけです。

ところで、渋谷マークシティの京王井の頭線とJRを結ぶ連絡通路に「明日への神話」という大きな壁画が掲げられているのをご存じでしょうか。

第五福竜丸が被爆した水爆炸裂の瞬間をテーマにしたという幅30メートルのこの大作は、かつて岡本太郎がメキシコの実業家から依頼され、何度もメキシコと往復しながら完成させたものです。1969年には落成間近のホテル・メヒコのロビーに仮設置されたのですが、ホテル自体が資金難から開業に至らず、その後、この壁画は行方不明になっていました。これが30年余り経た2003年にメキシコシティ郊外の資材置き場で発見され、日本に持ち帰られ修復を済ませた後に、2008年11月から渋谷に恒久設置されているものです。



## < 当資料に関する留意点 >

- ▶ 当資料は、H S B C 投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- ▶ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ▶ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ▶ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

## < 投資信託に関する留意点 >

### 投資信託に係わるリスクについて

- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

### 投資信託に係わる費用について

- 購入時に直接ご負担頂く費用・・・ 購入時手数料 上限3.675%(税込)
- 換金時に直接ご負担頂く費用・・・ 信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に  
間接的にご負担頂く費用…………… 運用管理費用(信託報酬) 上限年2.1%(税込)
- その他費用…………… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。  
交付目論見書、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」等でご確認ください。

注: 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。  
費用の料率につきましては、H S B C 投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、  
ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

## H S B C 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会